

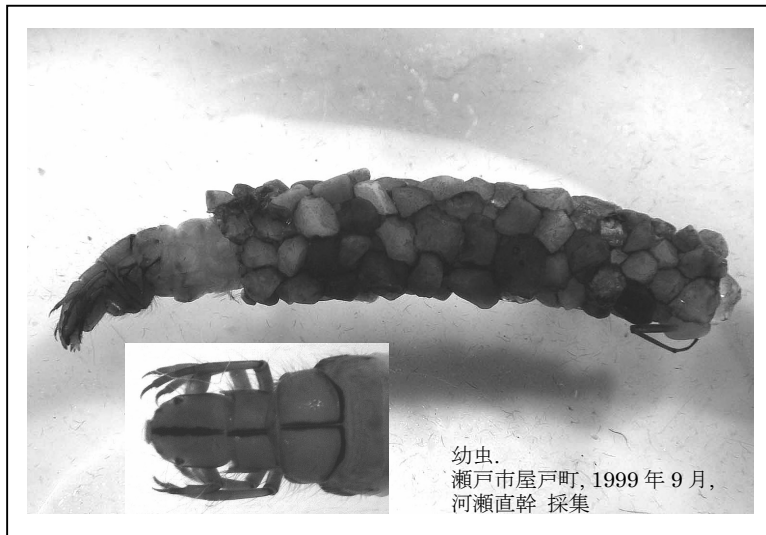
## ヒトスジキソトビケラ *Psilotreta japonica* Banks

### 【選定理由】

生息地として平地～低山地の清冽な細流を好むため、人為的な影響を受けやすい。近年の記録は少なく、希少な種である。

### 【形態】

成虫の前翅長は 10～11mm。  
前翅はやや茶色を帯びた黒色。  
終齢幼虫の体長は約 14mm、頭部および前・中胸の地色は黄色で、正中線に入る 1 本の縦條紋が特徴的である。幼虫の巢は荒い砂粒からなり、円筒形で側面から見ると緩やかにカーブする。



### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

瀬戸市屋戸町、長久手市香流川、豊田市八草町で確認されている。

#### 【国内の分布】

本州中部（愛知、岐阜、三重）および近畿・中国地方（滋賀、京都、奈良、兵庫、島根）で確認されている。

#### 【世界の分布】

日本にのみ分布する。

### 【生息地の環境／生態的特性】

湧水が流入し、水温や水位が安定した山裾や扇状地の細流に生息する。同属で普通種のアサギキソトビケラ (*P. kisoensis*) が山地溪流に生息するのに対して、ヒトスジキソトビケラは低地に見られる。生態的知見は乏しいが、成虫は 5～6 月に羽化し、年 1 化あるいは 2 年以上必要と推定されている。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

長久手市香流川は環境の悪化から生息は困難になっていると思われる。低地の河川は開発や護岸の整備などで環境が改変されやすく、生息環境が脅かされている。

### 【保全上の留意点】

低地～平地の河川は水質汚濁や環境改変を受けやすく、低・平地河川を好む生物は特にその生息が危惧される。本種は湧水が流入する夏でも高水温にならない清冽な細流を好むので、周辺環境を含めた保全が必要である。

### 【特記事項】

1906 年に岐阜県から記載された種である。京都府の RDB において絶滅危惧種に、滋賀県の RDB において絶滅危機増大種に指定されている。

### 【関連文献】

河瀬直幹, 2012. 絶滅が危惧されるヒトスジキソトビケラ *Psilotreta japonica* (Banks) 絶滅に関する形態的・生態的知見. 陸水生物学報, 27: 29-39.

Parker C. R., Wiggins G. B., 1987. Revision of the caddisfly genus *Psilotreta* (Trichoptera: Odontoceridae). Royal Ontario Museum Life Sciences Contributions 144, pp.55.

高崎保郎, 2002. 香流川(愛知県長久手町)の底生昆虫 1979～2001. 佳香蝶, 54 (210): 21-28.

(西本浩之)

県内分布図

